

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		めいぶる(放デイ)		公表日		令和 7 年 3 月 4 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		令和2年4月に新築した建物であり、基準は満たしている。指導訓練室や療育室などはクラス分けし、ホール（遊戯室）は共有している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		子どもの特性に応じ、分かりやすく構造化されている。 建物内は全てバリアフリー化されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔な環境で子ども達が過ごせるよう、玩具や床などは定期的に消毒している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		全ての場所以由に使えるようになっている。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		支援計画策定会議で支援計画を定め、定期的にモニタリングを行っている。目標設定の振り返りや見直しは、チームで行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケート調査を実施し、保護者の意見や要望を聞き取り、業務改善につなげていくようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員会議で職員の意見を出し合う時間を設けたり、アンケートをとったりして業務改善につながるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		第三者の評価はしていない。今後第三者による外部評価を検討している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修計画を定め外部研修に参加できるようにしている。また、内部研修も適宜行っている。		
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		作成されインターネットで公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		契約時や年に2回アセスメントを行い、ニーズや課題を明確にしサービス計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員の共通理解のもとで支援計画が作成されている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画に沿った支援を心がけ、評価に反映できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		事業所独自のアセスメントシートを使用している。また、日々の行動観察はケース記録に記載されたものを確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインを参考にしながら計画を作成している。「家族支援」については、アタッチメント（愛着）の安定を優先に考え助言などを行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者や保育士、児童指導員など、チームで活動プログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		子どもの発達段階や、興味関心を見ながらプログラムを組み立てている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別課題終了後に、ゲームや外遊びなどの集団の関わりを支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝のミーティングで、その日の受け入れ児童の支援の課題や、動きについて打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後に、支援の振り返りミーティングを行い、情報共有を図っている。また、定期的に支援会議を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援の検証ができるような支援記録を心がけ、モニタリングに反映できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		最低でも6ヶ月ごとにモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインを参考に、特性に配慮した発達支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		自己決定する力を育てるため、様々な意思決定に向けて支援の工夫を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達管理責任者や主となる担当者が、サービス担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		地域の関係機関と連携しながら支援にあっている。また、必要に応じて教育機関と情報交換を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校との情報交換は毎年行っている。また、下校時刻や行事についても学校から知らせてもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		利用していた事業所や園を訪問し、利用児の特性や支援内容等の情報を収集し支援に活かすようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		障害福祉サービス事業所へのスムーズな移行ができるように、情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			必要に応じて助言や研修を受けたいと考えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			機会があれば交流したいと考えているが、現時点では難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		開催日には必ず参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎の際や連絡帳を活用して情報交換を行っている。また、必要に応じて面談の機会を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者などが参加できる研修会は案内を出している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		利用契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画を作成する際には、保護者の要望や思いを聞き取り、子どもの発達段階に合わせた計画を作成するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画について説明を行い、保護者の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者より相談を受けた際には助言を行うと共に、必要に応じて関係機関につなぐこととしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会としては開催していないが、保護者や兄弟の交流の機会として、いも煮会や研修会などを計画している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情が出された際には、苦情受付担当者が責任者に報告するとともに、誠意を持って迅速に対応することになっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月、写真入りのお便りを出したり、HPやインスタを活用したりして、子どもの活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		契約時、保護者より個人情報取り扱いの同意書をもらい、個人情報保護にあっている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		子どもや保護者に伝わりやすいような情報伝達を心がけ、意思の疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			地域に開かれた事業運営については今後の課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルは職員には周知しており、緊急時対応としての訓練は行っている。	様々なマニュアルは策定してあるが、保護者に周知していないため、必要なものは周知するようにする。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		非常災害に備えて、定期的な訓練を計画している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		保護者より服薬やてんかん発作などの情報を頂き、状態を把握した上で支援にあっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーがある場合には、アレルギー検査結果をもらい対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画をもとに定期的に訓練を行い緊急時に備えている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		家族への連絡訓練など保護者に協力を依頼し、緊急時の対応について連携が図られるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットは職員会議で検証し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		内部研修を行ったり外部研修に出したりしている。また、虐待防止委員会を月に1回開催し虐待防止について意識を高めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		やむを得ず身体拘束の対応を迫られた場合は、保護者の了解を得たうえで個別支援計画に記載し対応している。	暴力的な行動が出現した場合、落ち着くまで個室において、職員とタイムアウトをする場面も同様な対応とする。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 めいぶる(放デイ)

公表日 令和 7年 3月 4日

利用児童数

7

回収数

5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				・室内も外も遊べるスペースがきちんと あると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				1	・本人支援が、優先になっていることが多いです。家族ともに情報共有し、家族支援もできるようにしていきたいと思 います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1			・なかなか交流する機会が持てないのが 現状です。交流する機会が持てないか、 今後も引き続き検討していきたいと思 います。	
保 護 者 へ の 説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				1	・講習会の案内がありましたら、お知ら せたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				1	・面談は年に1回行っています。 ・連絡帳を活用しています、また、お迎 えの際や電話にて情報共有するように努 めています。 ・個別支援計画書を配布する年度始めに 面談を行っています。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		1	1	・芋煮会の時、障がいのある兄のことも見てくれて助かりました。ありがとうございました。	・芋煮会を行いました。その際、保護者の方には調理を行い、お子さんとその家族をお預かりし、交流する機会を設けました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1		・相談があった際には、知り得る知識をお伝えしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				1	・契約時に、個人情報取り扱いについて説明し、同意書を頂いています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4				1	・今年度は、災害（地震）を想定し、保護者とのメール訓練を行いました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4				1	・定期的に避難訓練を行っています。実施時には、連絡帳にてお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				1	・子ども達が安全な環境で遊べるように、室内・戸外の安全点検を定期的に行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					